



キャリア教育 ちょこっと研修 その30

### 「勉強する目的ー脳の性能アップと自分の適性を知る、そして・・・」

#### 1. 私が考える「勉強する目的」ーより幸せな人生を送るためー

すでに「目的が大切」ということについては、お話ししてきました。生徒の中には、「あなたの仕事は勉強すること」と親に言われる人がいるそうです。しかし、「勉強するのはなぜか、勉強する目的は何か」に対して自分なりに答えをもっている人はどの程度いるのでしょうか。勉強する目的に対する答えは、人それぞれ違うようです。私の答えは、「仕事をするのなら、自分が好きなこと、得意なこと、興味のあることで働きたい。しかし、色々なことを経験したり、学ばなければ、自分が本当に得意なことは分からないし、何に興味をもっているのかもわからない。だからこそ自分の特性を知るために一生懸命勉強をする。そうすれば自分の脳の性能はアップする。その中で自分が得意なこと、苦手なことや自分の特徴もわかってくるはず。また、仕事について時に必要な知識や技能は、その職種によって違ってくるが、きちんと勉強をしておけば、どの職業についても必要な知識や技能は身につけている。自分の得意なことや興味のあることで仕事(世のため人のために役に立って)をして、そのうえで人から必要とされて幸せな人生を送れるのなら、こんな幸せなことはない。自分探しのために、そして将来世のため人のために貢献できる自分になるために勉強する」、これが私が考える勉強する目的です。

#### 2. 私が尊敬する先生が学級通信で熱く語っていた「勉強する目的」

私が尊敬する先輩が、学級通信で熱く語っていた「勉強する目的」を紹介します。

勉強する目的は智慧(智慧)をつけるためであると考えます。智慧とは何か、「物事の理を悟り、是非善悪を弁別する心の作用。物事を思慮し、計画し、処理する力」(広辞苑)である。間違い覚悟でうんとわかりやすく言うと「頭を良くするため」である。

数学、理科、音楽、美術、国語…それぞれの勉強で使う脳の部分が少しずつ違う様な気がする。社会科でも地理と歴史と公民とでまた違う感じがする。歴史などは、国語の文学の勉強の場合と近いと思うし、図形を考えている脳は作曲に使う脳のすぐ近所にあるような気がする。色々な勉強をすることで、脳全体の性能がアップするのではないかというのが私の仮説である。では、なぜ頭を良くする方がいいのか。生きているということは、ものすごくたくさんを瞬間に、または時間をかけて判断し、処理する営みである。その時々、勉強して性能が良くなった脳が働いているのである。例えば、こういう論文的な文章を書くときは、数学の証明問題で鍛えられた脳が中心になって働いているように思う。

文責 嶋田暢也